

# 平成 14 年度経営効率化計画

—— 信頼され選択される  
「北陸電力ブランド」の充実を目指して ——

平成 14 年 3 月

 北陸電力株式会社

## 当社を取り巻く経営環境と経営目標

電力の小売部分自由化開始から2年が経過し、この間、自家発電とのエネルギー間競争に加え、全国的には新規参入者の増加やお客さまによる購入先の変更など競争が本格化しております。

また、昨年11月から、総合資源エネルギー調査会・電気事業分科会が開催され、電力の安定供給を効率的に達成しうる公正かつ実効性のあるシステムの構築に向けた検討がなされております。

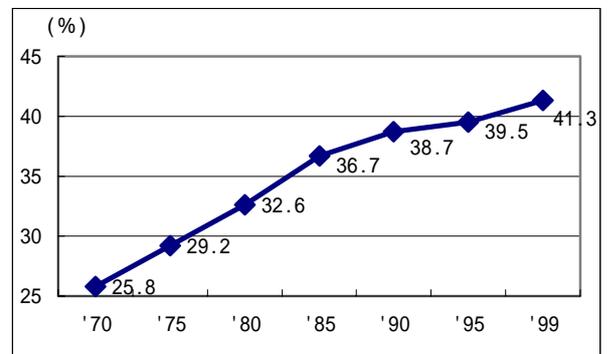
電気は日常生活や生産活動に密接に関わる商品だけに、公益的課題と効率化の両立のほか、お客さまの視点や電気という商品の特性を十分に踏まえ、我が国に相応しい電力供給システムの構築を期待しております。

一方、地球環境問題について、今後、CO<sub>2</sub>削減目標達成に向け、原子力、省エネルギー、新エネルギーの一層の推進等が求められております。

こうしたなか、当社は、経営改革を加速し、電力の安定供給や環境保全の社会的責務を果たしつつ、価格競争力を一層強化してまいります。

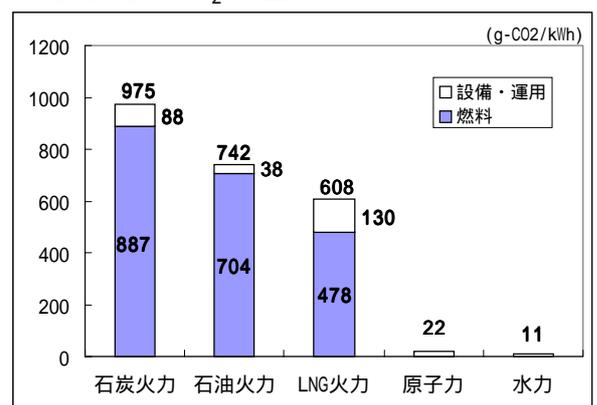
当社最大のプロジェクトである志賀原子力2号機につきましては、品質管理、環境保全、工事安全に万全を期し、着実に建設を推進してまいります。

総エネルギー需要に占める電力の割合



出展：総合エネルギー統計

電源別CO<sub>2</sub>排出量



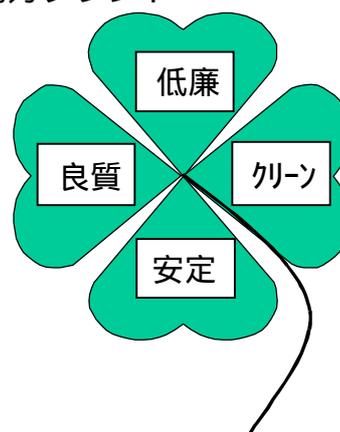
出展：電力中央研究所資料

志賀原子力2号機完成予想図



当社は引き続き、「Power & Intelligence  
でゆたかな活力あふれる北陸を」の企業理念のもと、北陸電力グループあげて、さらなる販売拡大とコスト構造改革を徹底し、より低いコスト水準を目指しつつ、財務体質の改善など経営基盤の強化を図り、「低廉・良質・安定・クリーン」な北陸電力ブランドを充実してまいります。

### 北陸電力ブランド



このため、以下の目標達成に努め、企業価値の向上を図り、地域の皆さまから信頼され、お客さま、株主の皆さまなどから選択される企業を目指してまいります。

経営指標の推移 (億円, %)

	H8	H9	H10	H11	H12
経常利益	223	245	206	301	340
ROA	3.2	3.1	2.7	2.9	3.2
自己資本比率	19.4	19.0	19.2	19.4	20.5
有利子負債残高	10,695	10,720	10,693	10,790	10,817

### (利益目標)

- 平成14～16年度の3年間について
- ・ 経常利益 300億円以上
  - ・ ROA (総資産営業利益率) 3%
- 平成20年度までに
- ・ 自己資本比率 25%
  - ・ 有利子負債残高 9,000億円以下

(注)・総資産営業利益率は、税引後営業利益の総資産に対する比率で、資産運用の効率性を示す指標です。  
・自己資本比率は自己資本の総資本に対する比率で、経営の安全性を示す指標です。

### (グループ経営目標)

**[電気事業以外の売上高] 平成17年度までに、50億円増(平成13年度対比)**

これら経営課題の達成に向け、以下の4つを柱とする経営効率化に取り組んでまいります。

1. 北陸電力グループあげての業務革新
2. お客さまのニーズにお応えする販売拡大
3. 効率的な設備形成と運用
4. 環境保全活動の展開

# 1. 北陸電力グループあげての業務革新

コスト競争力の一層の強化を図るため、すべての事業分野でのトップランナーを目指し、グループをあげて、B P R（業務プロセス再構築）<sup>\*1</sup>の積極的な推進とE R P（統合基幹業務システム）<sup>\*2</sup>の活用等により人件費等の削減に努めてまいります。  
また、事業分野別に、目標設定・成果把握による事業分野別管理を徹底してまいります。

\*1 B P R(Business Process Reengineering)  
お客さまへのサービス向上を目指し、業務の流れ（ビジネスプロセス）や組織構造を抜本的に再構築すること。  
\*2 E R P(Enterprise Resource Planning)  
生産、販売、物流、財務、人事など企業の基幹業務を組織横断的に把握し、全社的に経営資源の活用を最適化する計画・管理のための経営手法の概念を実現するための国際標準の業務プロセスを組み込んだ統合システム。

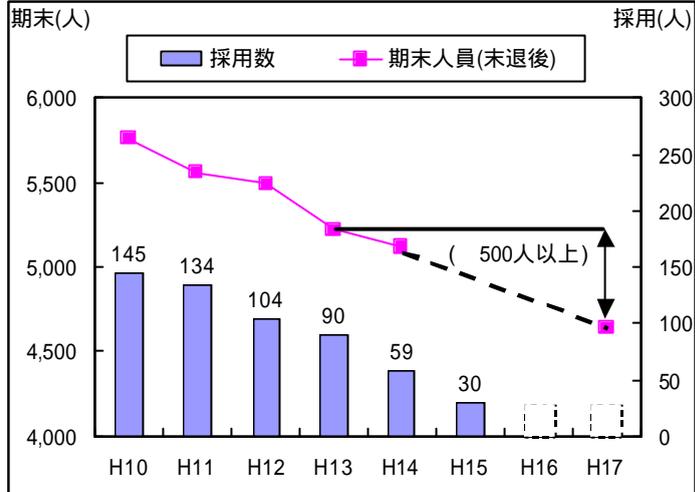
業務効率の向上などにより、

当社従業員数を平成17年度末までに  
500人以上削減（平成13年度末基準）  
（平成15年度 定期採用予定人員 30人）

・平成10年度末に比べ平成13年度末(未退後)までに500人減

諸経費を年間約10億円以上削減  
（平成13年度対比）

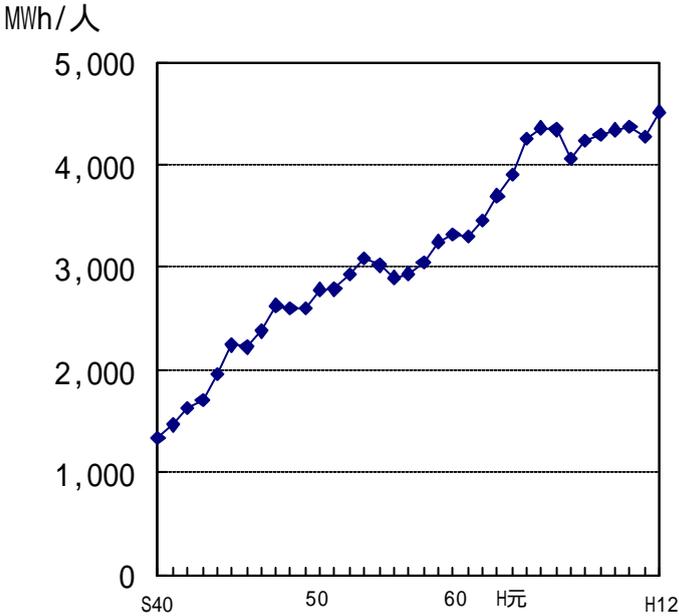
期末人員と採用人員の推移



- (1)組織・人事労務諸制度
- ・支店支社機能，発電関係組織の整備
  - ・業績成果をより反映した人事・賃金制度
  - ・カフェテリアプラン(選択型福利厚生制度)
- などを実施してまいります。

- (2)北陸電力グループトータルとしての効率化の推進
- ・給与・経理業務の集中処理
  - ・費用全般にわたるコストダウンの推進
- などに取り組んでまいります。

労働生産性（1人あたり販売電力量）の推移



(3) E R Pを活用した効率化の推進

a . 事業分野別管理の徹底

- ・ P D C A 管理の徹底
- ・ 「収益性」「公益性」「成長性」の枠組みによる事業分野別目標の達成を目指してまいります。

事業分野別成果把握指標

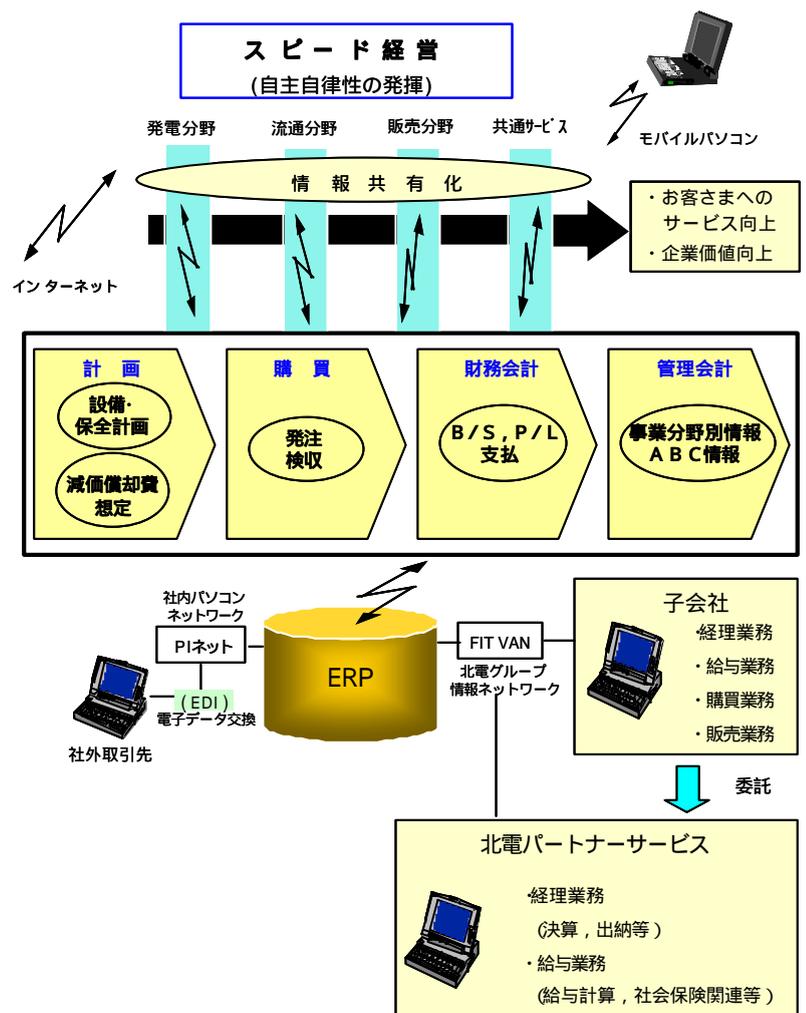
	観点	指標
収益性	全社経営目標達成	・ 設備投資額 ・ 労働生産性 等
公益性	電気事業に課せられた公益的課題	・ お客さまサービス水準 ・ 供給信頼度 ・ 環境貢献度 等
成長性	将来に向け発展するための基盤	・ 需要維持・開発 ・ 人材育成度 ・ 企業活力 等

b . 基幹業務システムの運用

(H14/4 開始, 一部 H14 年度末)

- ・ 工事計画から発注, 契約, 清算に至る事務の一貫処理及び企業間連携強化を目指したネットワークシステム (H14/4 運用開始)
  - ・ 子会社も含めたトータルでの管理間接業務の効率化・集中化に資するシステム (H14/4 運用開始)
  - ・ 発電所や変電所などの設備保全管理システム (H14/10 一部運用開始)
- などにより, 業務処理の効率化とスピードアップを図ってまいります。

E R Pを活用した北陸電力グループトータルとしての効率化の推進



## 2. お客様のニーズにお応えする販売拡大

電気の効用をお届けするという理念のもと、効率化の成果を活用して競争力ある料金メニューを充実するとともに、よりお客さまから信頼いただけるように努め、多様な課題・ご要望に迅速かつ的確にお応えする個別提案型マーケティング活動を強力に展開してまいります。  
また、グループ全体の経営資源等を活用して事業領域の拡大を目指してまいります。

### (1) お客さまニーズに即した「個別提案型営業」の展開

#### a. 21世紀のライフスタイルを提案するオール電化推奨

- ・「エルフショップ」、「お湯ドクター」、「eドクター」等のネットワークの充実による200V機器の普及拡大
  - ・「ほくでん住まいの倶楽部」やハウスメーカー、工務店とのネットワークによるお客さまへの情報提供
  - ・イニシャルコスト低減のお客さまニーズにお応えする電気温水器、クッキングヒーター、蓄熱式暖房器のレンタル制度導入(H14/4)
  - ・出前提案車や熱源比較装置等を活用した実演による電化情報提供
- などにより、サービス向上に努めてまいります。

#### b. より便利に効率的に電気をお使いいただけるトータルプランの提案

- ・蓄熱式空調システム(エコ・アイス等)や電化厨房を中心としたトータルプランの提案
  - ・お客さまのエネルギー効率、環境、安全性等お客さまのニーズにトータルでお応えするコンサルティング活動の充実
- などに努めてまいります。

#### c. お客さまのご要望にお応えするメニューの充実に努めてまいります。

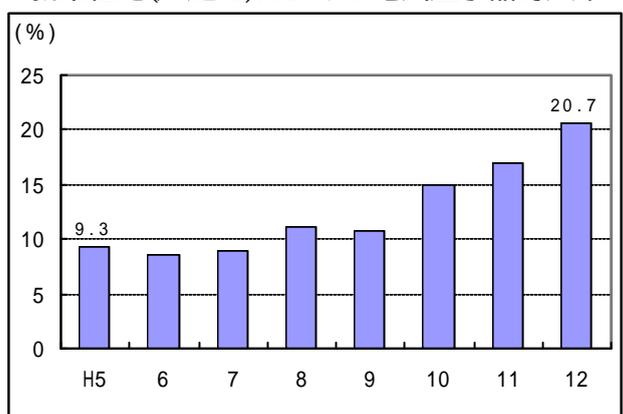
販売電力量と負荷率

	(億 kWh, %)				
	H13	H14	H15	H16	H23
販売電力量	250	249	252	258	297
負荷率	57.6	58.5	58.5	58.6	59.2

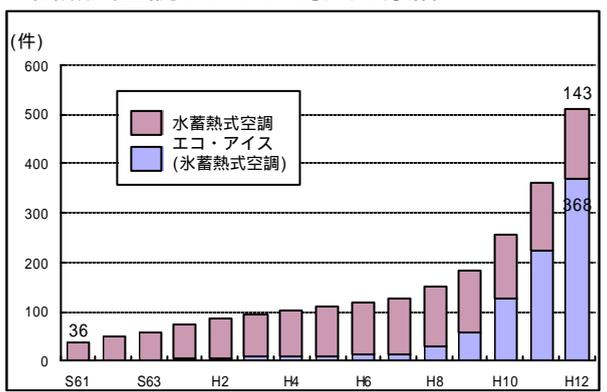
販売・サービスネットワーク

名 称	概 要
エルフショップ [約 3,200 店]	・200V 機器についてのお客さまからのご相談、ご要望への対応
お湯ドクター [約 160 店]	・電気温水器の水廻り全般及び電気配線等に関するお客さまからのご相談、ご要望への対応
eドクター [約 1,300 店]	・住宅電気設備に関する診断、ご相談への対応 ・契約容量変更等の申込取次 等
ほくでん 住まいの倶楽部	・住宅の新築・リフォームに関心のあるお客さまへの情報提供等

新築住宅(戸建て)における電気温水器導入率

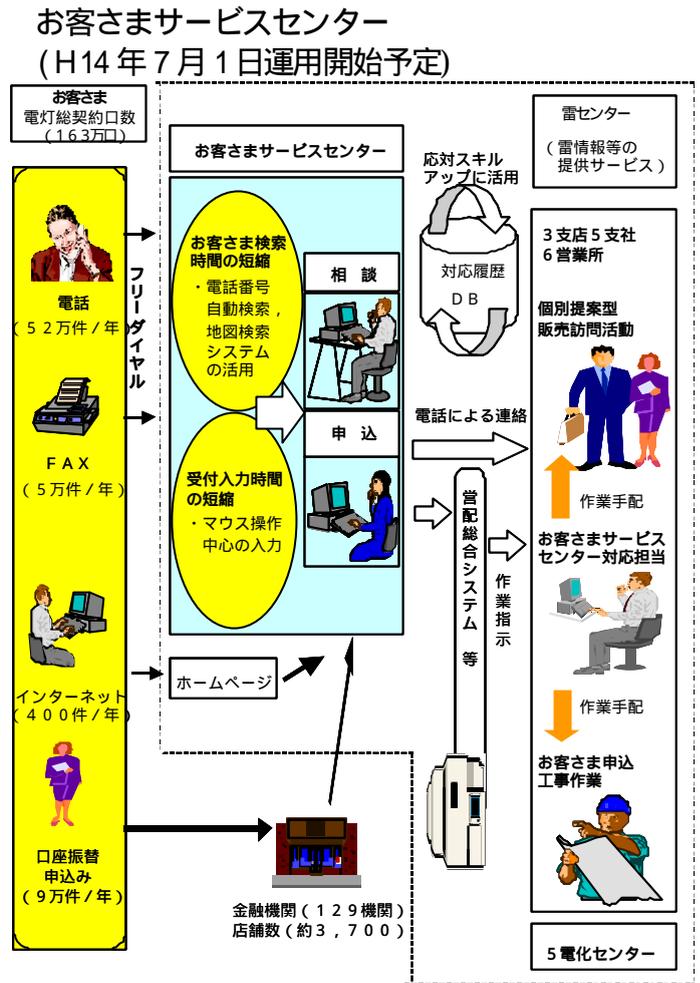


蓄熱式空調システム導入の累計



## (2) サービス体制の充実

- ・お客さまからの電話での問い合わせや申込みに一箇所で集中的に 24 時間体制で専門家がお応えするお客さまサービスセンター（コールセンター）の設置
  - ・これまで、お客さまから寄せられたご意見・ご要望などを統合した、お客さま情報システムの構築
  - ・お客さまからの雷に関するご相談やご要望にお応えする耐雷対策等コンサルティング活動の実施
- などにより、サービス体制の充実に努めてまいります。



## (3) 新規事業への取組み

- ・グループの経営資源を活用した収益拡大策の展開などにより、電気事業以外の売上拡大に努めてまいります。

### 最近の主な新規事業

	事業	概要	実施主体
エネルギー 関連分野	お客さま電気設備保守サービス	・受電設備、コージェネ等のお客さま電気設備の設置工事、保守・点検サービス	北電テクノサービス 北陸発電工事 北陸電気工事
	エネルギー管理支援サービス	・お客さまのエネルギー計測管理	北電アクト
	LNG販売	・北陸地域の都市ガス事業者へのLNG卸販売	北陸エルネス
IT 関連分野	データセンター	・お客さまのサーバーをお預かりする「ハウジングサービス」 ・お客さまにサーバーをお貸しする「ホスティングサービス」 ・お客さまに業務用ソフトウェアをお貸しする「ASP事業」	北電情報システムサービス
	ADSL関連	・NTTの加入者回線を用いてインターネット用の通信回線を定額で提供 ・ADSLでもPHSでも使えるインターネット接続の割引メニュー(ねっとキョーダイ)を提供	北陸通信ネットワーク
環境 関連分野	機密・保存文書リサイクル	・移種処理車による現地処理サービス ・選別処理施設による分別処理サービス	ジェスコ
	化学物質管理	・お客さまのPRTR(環境汚染物質排出移種登録)対応業務支援	日本海環境サービス
不動産	賃貸アパート	・オール電化アパートを建設し賃貸	北電産業

### 3. 効率的な設備形成と運用

志賀原子力2号機の建設や基幹系統の整備を進めるなど、安定供給の確保、供給信頼度の維持、環境保全の使命を果たしつつ、投資効率を重視した設備形成を図るとともに、修繕費の抑制や資産のリストラ、設備全般にわたる効率的な運用などに努めてまいります。

#### (1)設備投資・修繕費の削減

##### <設備投資額>

設備投資基準の見直し、設備仕様の見直し、  
工法の改善などにより、

設備投資額を H14～H16 年度の3年間平均で  
1,100億円以下に抑制

を図り、フリーキャッシュフローの改善や  
ROAの向上に努めてまいります。

- ・資機材調達にあたっては、競争入札に加え、  
ターゲットプライス方式や電子商取引の拡大、  
海外調達の拡大等により、調達価額の低減を  
図ってまいります。

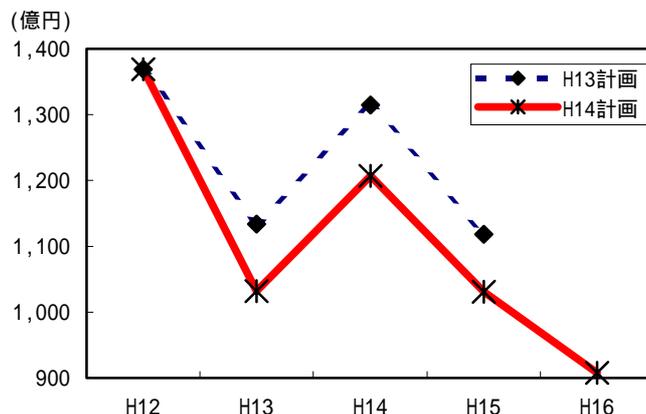
##### <修繕費>

- ・低稼働石油火力発電所の運転見直しや  
設備保全方法の見直しなどにより、  
抑制してまいります。

##### <資産のリストラ>

- ・今後活用が見込まれない資産の除却、売却  
などを行ってまいります。

#### 設備投資額の推移



志賀原子力2号機の建設



原子炉格納容器下部ライナ吊込み (H14.1.17)

送電線保守作業

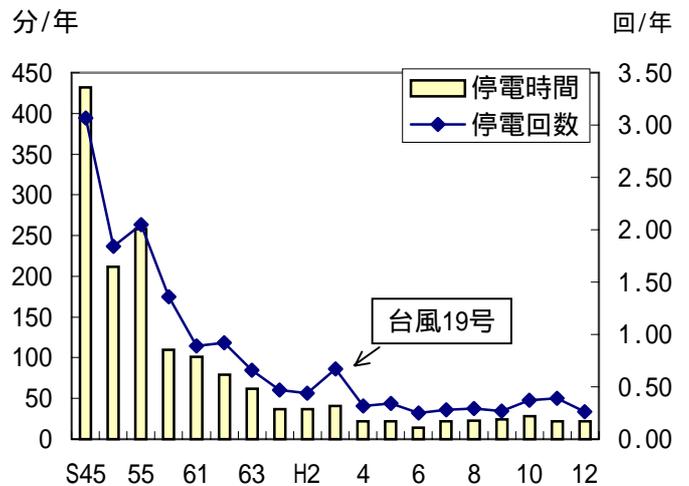


## (2)供給信頼度の維持

責任ある供給者として、今後とも、

- ・送配電線の雷害・雪害対策等の実施
  - ・雷・気象情報システムの活用
  - ・工事関係者と一体となった自主保安体制の徹底
  - ・雷センターにおける雷研究の一層の推進
- などにより、供給信頼度の維持に努めてまいります。

## お客さま一戸あたりの年間停電時間・回数

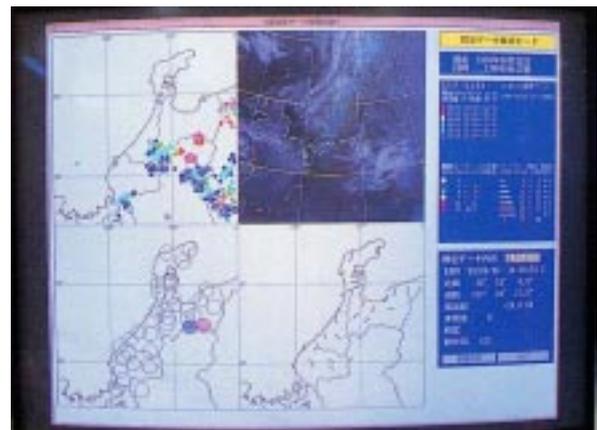


## (3)需給安定と効率的運用

- ・志賀原子力1号機の安定・安全運転
  - ・受電会社の需給安定と当社設備の有効活用を図る広域融通の実施
  - ・給電・制御システムのセキュリティ強化
- などにより、需給安定と効率的な運用に努めてまいります。

また、燃料の調達にあたっては、安定確保に配慮しつつ、マーケット状況に応じた経済的な調達に努めてまいります。

## 雷・気象情報システムの活用



## 雷センター(H13年2月1日開設)

### お問い合わせ先

[インターネットホームページ]  
<http://www.kaminari-center.com>  
[お問い合わせ先]  
TEL 076-439-5656

## 4 . 環境保全活動の展開

恵み豊かな地球環境を守り、次世代に引継いでいくために、「北陸電力 21 世紀環境憲章」を基本とし、原子力発電、省エネルギーの推進など地球温暖化防止対策や、石炭灰の有効利用など循環型社会形成に向けた活動等、環境負荷低減に資する様々な取組みを推進してまいります。

### (1)地球温暖化防止対策の推進

#### a . 原子力への取組み

- ・ 志賀原子力 1 号機の安定・安全運転による利用率の向上
- ・ 志賀原子力 2 号機建設工事の着実な推進  
(平成 18 年 3 月運転開始予定)

#### b . 自然エネルギー開発の推進と普及への支援

- ・ 風力発電の購入入札の実施
- ・ 北陸グリーン電力基金への支援

#### c . 海外における研究・環境植林の実施

- ・ 豪州クィーンズランド大学との共同研究

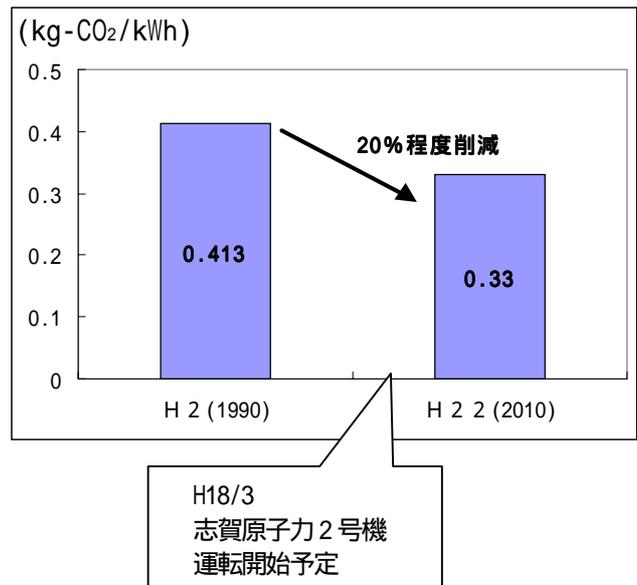
などにより、CO<sub>2</sub>排出量の抑制に努めてまいります。

また、六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)の回収や、代替フロン消費量の削減など温室効果ガス対策やペーパーレス化にも引き続き取り組んでまいります。

### (2)環境汚染物質削減に向けた取組み

- ・ PCB含有絶縁油処理施設の建設
  - ・ 環境汚染物質管理など化学物質対策の推進
- などを行ってまいります。

電力量あたりのCO<sub>2</sub>排出量



#### 加入申込み

- ・ 募集金額：500円/口・月
- ・ お一人さま何口でも申込みいただけます
- ・ 電気料金と同時に寄付金も振替えさせていただきます
- ・ お申込み先：最寄りの北陸電力窓口  
フリーダイヤル  
0120 167540

### (3)省エネルギーの推進

- ・お客さまへの省エネルギーコンサルティング活動の推進
- ・自社施設等の省エネルギー
- ・ワンダーラボ（エネルギー科学館）などでの省エネルギーPR活動の推進などを実施してまいります。

### ワンダーラボでの省エネルギーPR活動



### (4)循環型社会形成に向けた取組み

- ・石炭灰など、発電・送電・配電の各分野から発生する産業廃棄物の有効利用
- ・環境への負荷が少ない製品を購入する「グリーン購入」の推進

などにより環境保全に努めるとともに、

- ・北陸3県オフィス古紙リサイクルの推進など、地域の皆さまと一体となったリサイクル活動を引き続き推進してまいります。

### 石炭灰有効利用

#### フライアッシュ

- ・ダム建設工事
- ・コンクリート混和材
- ・軟弱土壌改良
- ・タイル原料 など



### クリンカアッシュ

- ・グラウンド、ゴルフ場の排水材
- ・道路下層路盤材
- ・土壌改良材
- ・廃棄物処分場脱臭材 など



### (5)環境マネジメントシステムの推進

- ・国際規格 ISO 14001 認証取得成果の水平展開など、環境マネジメントシステムの定着と継続的改善を推進してまいります。

### 国際規格 ISO 14001 認証取得実績

取得年月	取得事業所
H10 / 5	富山新港火力発電所
H11 / 12	志賀原子力発電所
H13 / 3	武生支社
H14 / 2	七尾支社

**企業理念**

**Power & Intelligenceで  
ゆたかな活力あふれる北陸を**

**コーポレート・スローガン**

**暮らしに夢をともらいたい**

当社は、情報窓口やインターネットを通じて積極的な情報発信に努めております。今後とも、お客さまとの対話活動等により広くご意見をいただき、迅速に当社の経営に反映してまいります。

お気軽に下記フリーダイヤル、インターネットをご利用下さい。

フリーダイヤル

インターネットホームページの当社アドレス

インターネットメールの当社アドレス

イロナゴウヲ  
0120 - 167540

<http://www.rikuden.co.jp/>

[pub-mast@rikuden.co.jp](mailto:pub-mast@rikuden.co.jp)